

あなたも受けてみてはいかがですか

(昭和42年度畜産コンサルタント事業受診農家団体募集)

社団法人 岡山県畜産会

昭和四十一年度の畜産コンサルタント事業及び新しく始まった中核農業者育成事業もほぼ終了し、三年目を迎えたコンサルタント事業は、診断助言の方法も改善され、受診者の畜産経営改善に相応の効果を挙げたものと確信しております。中核農業者育成事業もコンサルタント事業受診地区内に中核農家を優先的に設置し、中核農家を中心にグループ指導を大々的に行なっています。

ところで、現在岡山県畜産会では昭和四十二年度の受診希望農家及び団体を募集しております。県下のトップクラスの先生方による診断助言を受けて、大いに畜産経営の合理化に勤められるようにお奨めいたします。

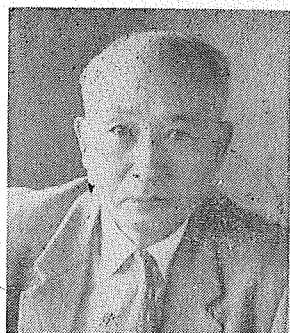
- 1、畜産コンサルタント事業の概要
 - (1) 一般診断——畜産コンサルタントト団により、畜産農家の経営診断と経営改善の助言指導を行なう。
 - (2) 中核農業者育成事業——先進的な畜産技術を持つ農家を中核農家として選び、保有する優れた技術をグループ内農家に普及を図り、技術水準の向上に役立てると共に、他のグループとの技術交流を推進する。
 - (3) アフターケア——一般診断農家について翌年再診断し、助言指導成果をみると共に再指導する。
 - (4) 指導員の指導——受診地区内にその畜種に適した指導員を委嘱して受診農家、中核農業者群の指導とコンサルタント団活動に対して援助を依頼し、本会から指導日数等に応じて指導員旅費指導用教材、中核農業者群指導用器材を支給する。
- 2、指導員に対する旅費、教材その他支給状況
 - (1) 旅費——毎月四日平均、年間三十六日以上を指導に従事し、出勤日数に応じて指導旅費を予算の範囲内(四一年度は一人三万円程度)で支給する。
 - (2) 教材——(四一年度の例)
 - ① 岡山畜産便り一カ年分 800円
 - ② 月刊誌「畜産コンサルタント」一カ年分 1,350円
 - ③ ポケット型計算尺一コ 800円
 - ④ 参考書「草地の造成管理と放牧技術」一冊 450円
 - ⑤ 参考書「繁殖豚飼育技術体系」一冊 530円
 - ⑥ 肉豚飼育技術体系一冊 530円
 - ⑦ 中核農業者群指導用器材
 - ⑧ 指導用器具一カ所へ一コ 5,000円
 - ⑨ グループ員用資料一カ所へ 4,000円
- 3、他の畜産会事業
 - (1) 月刊誌「岡山畜産便り」の発行
 - (2) 畜産講習会の開催
 - (3) 各畜種、専門分野について斯界の權威者を招へいして講習会を開催。
 - (4) 畜産経営技術指導指標の作成配布用牛、酪農、養鶏、ブライラ、乳用牛雄子牛肥育

乳価にっころ

惣津 律士

先般ある会合で、牛乳の増産が論議されて、その対策として酪農団地の造成、乳牛導入補助、低利資金の融資、自給飼料の増産、指導陣の強化などがあげられたが、さて緊急増産のきめ手は何かとの問題が中心になった時に、私は乳価の値上と、低廉な飼料の豊富なる供給と減税を強く打出して、増産ムードを作ることが先決であって、これがすべてを決めるものだと私は笑って答えた。

昨年の市乳向原料乳については生産



者は苦い経験をへて、不満足ながら一応終止符を打たざるを得なかった、昨年春から夏にかけては例の不足払法のかけ声が、乳価の大幅値上という印象を強く酪農民に与えたために増産が見られたが、いつまでも乳業者が出し渡るために、秋以降は全国的に減産に転じ、本年は品不足の傾向が見受けられるようである。

日本ではまだまだ、まともな酪農施策は文章の上以外では、実在しないようである。

さて本年の乳価の決定は、昨年以上に深刻な様相を示しそうである。牛乳の卸、小売価格の引上げによる財源がなければ、絶対に値上げには応じられないとの強い態度を乳業メーカーがもっているからである。併し生産者としては、乳業者の家庭事情がどうである

うとも、乳価を上げなければ、酪農に対する意欲はとみに減退し、酪農放棄が続出することは必至である。この事は政府は十分に解っているはずである。生産者団体が非常手段を取らなければ、乳価が上らないような酪農事情に放置して置いてよいものである。か。度々申上げているように、政府の指導の下に、英国その他の国に見られるような、乳価決定機関が一日も早く出来る事を切望して止まない。

国は酪農振興法の規定に基き、都道府県酪農近代化計画を取りまとめて、四十六年度の生乳生産量を現在の二倍に増産する目標を設定して、停滞気味の生産に活を入れる施策を講ずる事としている。併しこの実施にあたって、農林省では畜産局のみが本気になり、又県では畜産課就中酪農係のみの仕事になって、他の部門は御手並拝見といった現状を打破して、国ならば政府機関がこぞって酪農振興に結集するのでなければ、画餅に終るであろうことを私は警告したのである。

▽三月号目次 △

乳価について……………惣津律士…1	ニュートカッスル発生……………2
▽和試 サイレージの調製と給与 上の注意点……………7	▽鶏試 昭和40年度鶏経済能力検 定結果の概要……………9
▽酪試 牛凍結精液について……………10	試験場だより 昭和40年度鶏経済能力検 定結果の概要……………9
普及所だより……………3 牧草地の施肥について……………13	団体便り 酪連だより……………17 養鶏農協だより……………19

乳牛用配合飼料

品良く・もうかる!!

酪農1号

岡山県酪連

仔牛はこれぞ!!

雪印
カーフミルク
カーフフード

使え安心!!

北酪1号
北酪2号

岡山県北部酪農技

製造発売元「タネとエサ」の **雪印種苗株式会社**

本社 岡山 盛岡 東京 札幌

(津山に)

津山市高野にある津山市農業協同組合高野共同育すう場に「ニューカッスル病」が発生した。このため、県畜産課内に「ニューカッスル病防疫対策本部」を設置し、発病鶏の焼殺、移動禁止地区の設定などを行い、防疫に万全を期している。蔓延防止のための注意点として次の事項があげられているので、養鶏家は十分注意されるよう希望している。

- (1) 異常鶏の早期届出(もよりの家畜保健所へ連絡する)
- (2) 発生地域への立入禁止
- (3) 部外者の立入禁止
- (4) 飼料は鶏舎内へ搬入せず、道路上等で取引し、車輛はその都度に消毒する
- (5) 予防注射の徹底
- (6) 集卵出荷箱の新箱使用
- (7) その他鶏尿、飼料袋等の焼埋却あるいは酸酵消毒処分等の励行
- (8) 消毒施設の設置及び鶏舎等の消毒励行

ニューカッスル病発生状況

- 1、発生場所 津山市高野 津山市農協共同育すう場
- 2、決定月日 昭和42年3月3日
- 3、飼育状況 八〇五〇羽(二〇日〜八〇日令) 斃死 約三五〇〇羽 発病中 四五五〇羽
- 4、発生の概要 二月二十六日 朝二、三羽に奇声(キヤッ、キヤッ)を発するものを認め、午後斃死した。 二月二十七日 急におかしいものが増加したが、ジフテリアとして措置。 二月二十八日 前日よりさらに異常鶏が増加したため、抗生物質を投与して経過を観察していたが、斃死鶏が出始めた。 三月一日 異常鶏が次々に斃死したため(三月二日で斃死二五〇〇羽)家畜保健衛生所に連絡。 家畜保健衛生所は調査の結果ニューカッスル病疑似として直ちに畜産課に連絡。 直ちに材料(斃死鶏一二羽、発症中の鶏の血液八例)を農林省家畜衛生試験場中国支場に病性鑑定を依頼した。 三月二日 病性鑑定結果 解剖所見はニューカッスル病変状が著明であったが、血液診断は八例全例陰性であったためニューカッスル病疑似と診断された。

更に現地において血液診断の結果 三月三日 陽性と決定した。

- 5、現地の調査状況 一般に元気がなく、羽毛逆立、食欲廃絶、緑便(下痢は少い)、開口呼吸、奇声(キヤッ、キヤッ)あり、神経症状は認められないが、経過は早く一〜二日で斃死している。剖検所見では気管支の出血、腸粘膜、腺胃の点状出血等。
- 9、疫学的所見 現在伝染経路については調査中であるが、現在のところ不明である。

- 7、防疫措置 農林部畜産課にニューカッスル病防疫対策本部を設置し、緊急防疫措置を講じつつある。
- (1)、移動禁止地域の設定 津山市、勝田郡、勝北町、勝央町
- (2)、第一線警戒地域の措置
 - ①、発生鶏舎 患畜の殺処分、焼却、鶏卵の出荷中止(指示のあるまで)、飼料袋その他汚染物品の焼却または消毒、立入禁止。
 - ②、未発生鶏舎 予防注射(飼育羽数一〇〇〇〇羽以上自衛、その他県管)、鶏卵、廃鶏出荷中止(指示するまで)、プロイラー出荷中止(指示のあるまで)、汚染物品の焼埋却、消毒、消毒施設々置、飼料の搬入の庭先取引、鶏舎等の定期消毒。
 - (3)、第二線警戒地域の措置 予防注射は家畜保健衛生所の指導により自衛注射を行なう。 消毒施設の設置、定期消毒、飼料の庭先取引、鶏卵出荷箱の新箱切換。

普及所だより

畜産に関する

技術普及上の問題点

岡山県普及教育課研究係

はじめに

司会者……最近畜産に関する技術浸透問題がやかましくいわれています。これは、簡単にいえば飼養規模を拡大して所得を向上しようと努力している農家が多くなっている中で、①例外不振な経営体が多いこと、また②多頭化は願っても具体的に動かせないである限界内にとどまり伸び悩んでいる経営体が多いこと、

これらに対して対策を急ぎ、安定した経営を確立しなければならぬ。それには革新技術を速やかに普及し農家に定着させることが急務だという考えから出発していると思います。そこで今回は平素の現場における普及活動をおおして考えておられることや、つき当って困っている問題、さらには、解決のためのアイデアなどを出してもらって、この問題を皆んなで考えてみたいと思う。Aさんどうぞ。

1 畜産経営の現況について

A……早速ですが、私の管内にも数戸単位で酪農協業を行っているのがいくつ

かあります。しかし、どれも立派な経営とはいえません。くわしく調査した結果

本稿は、昨年末酪農試験場で、畜産専門改良普及員の研修の場で討議した内容を中心として構成したものである。

でないからにはつきりした事はいえませんが、何か多頭化を急ぎ過ぎた感じといえますが、例えば飼料の準備が十分とどのわれないのいそいで始めたために困っている例や、建てた畜舎に早く満杯させるため良くない牛を導入している場合などがある。

B……私のところでも構造改善事業で始めたのがありますが、Aさんところと同じ例です。期限までという事で急いだため、計画の吟味が十分でなかった点もありますが、畜舎施設に金を掛け過ぎて、あとの運転資金は枯渇し、全部農協から借り入れたというもの、他人に樹立してもらった計画が自分自身のものになり切っていないための失敗例もあります。

司会者……二人から、経営者自体が内

部から熟さないで、技術にしても経営計画にしても、意識中心でいきみ足になり蹉づいている実例や資金計画がしっかりしていないために困っている話がありました。D……これは我々側も弱いんだが……例えば、飼料の栽培計画や給与計画は細かく計算して樹てるが、この計画を全体からみて1kg当りいくらの生産原価につくのか、これなら購入した方が得か損か……即ち原価を良く見つけてやるということが弱いんじゃないか。

司会者……技術的な面で何か。 C……私は南部で水田酪農地帯なんだが、やはり飼料基盤の弱いことや酪農不安定の原因であると思う。水稲は生産性が高いが、当面は裏作麦の収益性を排除しうる飼料作物栽培の経済性が確立されなければならぬと思う。

私の管内に水田一・五haで乳牛一八頭飼育し、自給飼料供給率●%の農家がいるが、このような農家の技術を良く分析して問題点なり解決策を整理したいと思っている。 E……同感だ、私の地方でも兼業農家の裏作はほとんど遊んでいるが、レンゲを栽培して後を耕して返せばただで貸すのに、イタリアンを栽培するなら貸さないといっている。良く聞いてみると、酪農家のイタリアン跡の稲の生育が良くないのを見てからだと。裏作飼料作物にしても表作の稲のことも考えた栽培技術でないといけないのではないか。

G……たしかに農家は全体を見てい
る。話だけではやらない。実際良い例を
見たり、やって見ないといけない。又部
分だけ良いのではいけない。これは他
の例になるが、い草を主体に栽培してい
る農家かなり優秀な稲刈機をみてい草
にも使えるなら買いたいといっていた。

司会者……下さん、何か。

F……私は農家の側からみて感ずるの
だが、さきほどの話のように技術の全体
性というか体系化の問題と同時に、今の
技術は難しすぎる、もっと簡単にならな
いかと思う。例えば飼料計算に例を取っ
てみても、TDNだ、DCPだ、維持飼
料だ、産乳飼料等々、農家の側からみ
ると複雑になりすぎているのではないか
と思う。いくつかの飼料給与単位があっ
て体重何メ、産乳能力いくらの牛ならい
つ頃これだけ、いつ頃これだけ、とい
うようにしないといけないのではないかと
思う。私は管内の酪農の集密している地
域に何年も足を運んで飼料計算の話は何
回もしたが、実際飼料計算をやっている
農家は少ない。これは農家が悪いだけ
ないと思う。単肥配合に対する化成肥料
の普及の例のように……

C……それはなかなか難しいのではな
いか。鶏のような内臓の構造とちがうた
め、一定の基礎となる粗飼料は必要であ
るし……

F……それはそうだが、しかし維持粗
飼料といっても、本質機能はセインでは

それぞれの持分によって活動することが大
切であると思う。

司会者……具体的にお願いします。

T……例えば地域酪農家の飼料給与の
実態が購入飼料による蛋白質の過剰問題
があるとすると、農協等の飼料係と十
分連繫が取れないと問題解決がでない
など……

G……これは解決策になるかも知れな
いが先程Tさんが、農家の課題に対する
全認識を一つにしなければならぬとい
う話がありました。その場合、具体的
にはどうするかが重要と思う。私のとこ
ろでは、技術者の連絡協議会をたびたび
開催していますが、会議の内容が空廻り
して具体的にない問題を持っていま
す。そこで本年度から管内で企業酪農を
目ざして努力している農家を一〇戸選
び、その農家に経営や技術記録を残して
もらい、その情報を分析して問題点なり
対策について検討する事を提案していま
す。この検討には経営担当にも作物担当
にも出席してもらっています。従来、と
もすれば我々畜産人は、畜産の技術問題
のみで議論しがちであったが、こうする
事によって経営全体の立場から技術問題
を考へる場も得られるし、畜産関係者の
みでなく、地域の農業指導者全体が、畜
産問題について考へてもらえる機会に
もなり、大変よいように思っている。お
互の連繫も農家を見つめて具体的になる
点は特に良いと思っている。

ないか。

司会者……技術の細かい内容について
はしばらくおくとして、体系化された技
術が必要であるという点ではおほかたの
意見の一致を見たように思うが、いまで
は農家側の反応や畜産経営に対する理解

2

畜産の技術普及上の問題点今

A……畜産技術普及でいつも思うこと
は、見たり試したりの普及効果が大きい
ことを考へながら、なかなか現地で実証
試験が難しい問題があると思う。

C……我々が畜産技術指導で主として
タッチする面は、飼料生産計画や飼料の
給与を含めた家畜管理技術が中心であ
り、これらは直接的に農家収入に反映し
ない。連続したある期間を経ないと成果
が現れないし、もし成果が出たとして
も直接に原因と結果の関係が目に見ら
ない。これに比べて、家畜の購入価格、飼
料の購入価格、乳の販売価格などは、一
円でも直ちに目に見える。又家畜疾病の
診断も……このため普及員は話だけだと
いう農家もある点が悩んだ。

K……一年、一年で区切りがつか
ない、簡単に成果が判断できない。

司会者……畜産の技術向上の効果、普
及指導の効果は単純に現れない特殊性
があるということですが、その他に何か
……

司会者……この問題については解決へ
のアイデアも出してもらいましたが、
他に問題なり対策なりを出してもらいた
い。

H……相互に連繫する場合、さきほど
の話のように農家経営体に視点を合せて
意識を統一する事は大変に必要なことで
ある。それ以前の問題として私は、地域
の技術者も行政や経済を担当する者も合
せて、すべての人々が当該地域農業の発
展方向について、即ち本当に畜産を伸ば
すのか或は園芸を伸ばすのかの基本的な
問題についての構想と、その具体的な手
法が十分確認された上での個別の経営問
題と、その経営に必要な技術問題が問題
になるべきだと思う。このような基本問
題について底辺を等しくしていなければ
個別の技術問題をいくら論じても駄目
だ。

G……末端の技術浸透のために畜産独
自の組織を従来よく考へたものだが、
先程、私が話したように、総合組織
の中で畜産問題の解決について考へられ
るような組織が必要ではないか。組織を
作っても活動の内容が整わなければなら
ないので、いたずらに新しい組織を考へ
る必要はないとともに、運営の方法や内

さらには技術の性格についての話を中心
であったと思うが、ここで話を変えて、
今度は畜産技術を伝達する普及主体者側
の問題……即ち普及技術上の問題につ
いてどうぞ。

D……最初にも申しあげたが、農家は
経営しているのだから……又我々は経営
に弱いからこの点の勉強を深めなければ
ならないと思う。

B……現場にいると、どうしても口が
先に立つというか、実技能力がついてい
けなくなる。農家の前では簡単な事でも
デモンストレーションでできるかどうか
重要である。

司会者……畜産技術指導者間における問
題点など……

H……これは一つには指導組織が極め
て複雑である点だと思います。末端から
見ますと、普及所、家畜保健所、経営指
導者協会、畜産会、農林事務所、酪連、
専門農協など、種々な組織があつて、そ
れぞれの間に必ずしも十分な連繫が取れ
ていない問題があると思う。相手の農家
は一つであるから……

T……それぞれの機関には、それぞれ
の機能の特質があるのだから、対象の持
つ課題に対する全認識を同一にして、そ

容を十分に検討したいことを提案したい
がある。

H、D、T……Gさんの提案に同感で
ある。

司会者……色々話はずきないと思
うが、こゝらで一度整理をしたい。一部に
ついては、問題解決についてのアイディ
アも提出されましたが、前半の話は、技
術浸透に関する阻害問題のうち、①農家
側の経営能力や技術に対する反応②さ
らに技術自体の性格が個別、部分のも
でなく経営的技術として開発されなけれ
ばならない問題③次に普及推進者間の組
織や連繫の問題などについて話し合っ
てきましたが、次に今後の対策について話
し合いたいと思います。その前に、今ま
での問題で全体的に補足する問題があり
ましたら一言づつ願います。

A……今までの話の中で農家側の問題
で農家の組織化・集団化の問題は出てい
なかったと思うが、幸い私の地域では農
家の中に良きリーダーが存在するので技
術浸透問題は能率的である。農家は我々
外部の者が一人一人に接触する場合より
も、内部リーダーをつうじて技術の実際
を見る事の方が反応が速い。さらに共同
問題についての共同解決は重要であると
思う。

3

今後の対策について

司会者……それでは今の問題に関連し

て農家側の問題についての今後の対策に

“酪農・養鶏機ならおまかせ下さい”

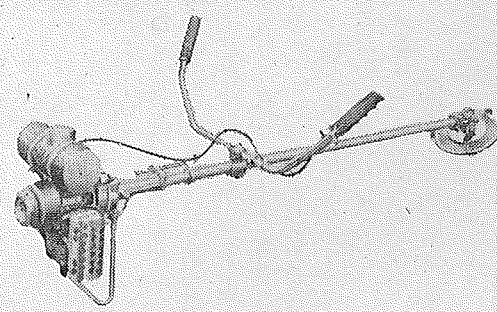
農業機械ならなんでも揃う店

岡山市柳町一丁目一の七

小六農機株式会社

TEL 岡山②0307(代) 岡山市外専用 110

営業所 高梁・金川・児島



イリノの刈払機
ネジーフで角度が自由に変る唯一の刈払機!
イリノの刈払機は、下刈、地這りえの他、
果樹園の下刈、牧草の刈取り、稲刈、中耕、
除草と全くフルに年中使用できる万能機です

S型

大河原農機株式会社
岡山市出石町1丁目19 TEL 24-8221-22-7113

岡山県各畜産試験場より

酪農試験場だより → 10 P

和牛試験場だより → 7 P
養鶏試験場だより → 9 P

和牛試験場だより

サイレー ジの調製 と 給与上 の注意

和牛の冬季貯蔵粗飼料として、サイレージ(埋草)の給与が最も良い。即ちサイレージは乾草などに比較し労力及び天候などによる支配が少く、サイロさえあれば比較的簡単に調製できる。然も品質及び栄養価は青刈のそれに近似し冬季不

一 サイレージ 調製の原理

サイレージは詰込材料を空気のない状態でサイロに詰込み、材料に含まれている糖分と材料に附着している乳酸菌から乳酸がつくられ、一定の酸度と炭酸ガスによってサイロ内は嫌気性となり、長期貯蔵できる一種の醗酵飼料である。
① 材料の呼吸作用を抑える(空気を遮

足勝ちなビタミン類、無機物など牛の健康維持、繁殖上必要な成分が青刈に近い状態で含まれており、今後の肉用牛飼養上成牛一頭に対しサイロ一基はぜひ備える必要がある。以下調製上の留意すべき点について述べる。

二 詰込時の 注意点

- ① 乳酸菌の生育を促す。
 - ② 酪酸菌等有害菌の生育を阻止すること。
- 以上が重点であり、そのためには詰込時に次のような原則によって詰込むとよい。

三 肉用牛一頭に 必要な量と 作付面積

- (一) 材料の水分含量を調節すること約七〇%程度
 - (二) 材料を適当な長さに細切すること。水分の多いものは比較的長く、少ないものは短かく、材料の軟かいは比較的長く、硬いものは短かくする。概ね一ないし四cm 程度
 - (三) 必要に応じて添加剤または調節材料を加えること。各種添加剤があるが、糖密飼料が一般的で使いやすいと思う。
 - (四) 材料をサイロの中に均等に分布させ一様に踏みつけること、特にサイロ壁内側を十分に踏みつけること。
 - (五) サイロを適当に封すること。ビニールで密封し、水ブタか土又は石等で重しを十分にする。
 - (六) 次に肉用牛一頭に必要な給与量と飼料作物の作付面積を検討してみよう。
- 冬期十一月から四月まで一八〇日間給与するとし、一日一頭約二八kg程度とする。即ち、 $180 \times 28 = 5,040$ kgとなり一頭に五、〇四〇kg必要となる。これは

ついて提案願います

B……最初に私が申し上げたことに関連するのですが、農家は従来の小規模経営の中で進めていた場合はかなり高い実践的な経営技術をマスターしていく能力があると思う。しかし多頭化になると従来と異った面で経営の成果が動く、即ち飼料をいくら上手に与えても乳を多く搾っても、飼料自給率がいくら高くても、他人資本の圧迫を受ける財務構成や下手な資金繰りによる資金コストの昂騰が優秀技術による経営成果を抹殺する。

技術自体についても「最高の技術」のみが問題にならないで、当該経営に取っての「最適技術」が問題にされる技術の受入れに対する自覚が出来なければいけない。

G……Aさん、Bさんの提案された問題についてどうしたら良いのか。私はこのような経営者能力を高めるための一つの方法としては農家が簿記を記帳して、それを細かく分析し、その対策を求める努力を積重ねることが必要であると思う。いわゆる経営の実践活動をつうじた蓄積が必要である。一朝一夕にできるものではない。特にT地方の養鶏協業が歩んだ過程を理解すればする程強く思う。

F……Aさん、Bさんの提案は農家のみの問題でなく、技術を開発する試験研究側も、それを普及する普及主体者にも通じる問題であると思う。部分技術を体系技術として、又経営に対する最適技術

として作出したり普及する問題も重要である。

C……私は最初に飼料作物の栽培で表作稲と裏作飼料作物を関連づけて、栽培技術の体系を確立するの必要を申し上げたが、このような研究には農試作物部との協力研究も必要でないか。

司会者……農家側の問題と技術自体、技術作出主体の体制など、両者はからみ合っていると思うので一諸に問題を出してほしい。

D……農家の問題は常に経営全体の問題との関連で提起されるから、農家のもつ課題を整理し、現場で解決出来ないものを、試験研究機関へ反影させる我々の役割も大切であると思う。

C……それはそうだが、専門技術員はその仲介的存在だからよろしく頼みたい。司会者……普及全体の問題や普及方法に関する問題の解決法について。

G……我々は作物を担当する普及員のように一部あるいは少面積で実験したり、展示したりすることが出来ない。最少の単位は一頭で数十万円する対象であるから自信が必要である。何か現場で展示するような施設なり、方法手段がほしいと思う。

T……先程Gさんが指導者間の意識統一について話された具体的な方法……教材を生きた経営に求めることは大切だと思う。「動物」に即する技術の実験は試験場にまかす、我々はそれを基礎として

経営する経営体の中の「家畜」の問題にするのだから、必ずしも現場における実験や展示のみが生命でないと思う。

司会者……色々難しい問題になりましたが、時間の関係もありますので、総括的に一言づつ提案を戴きたいと思いません。

H……技術浸透と言う問題を現場から考えますと、何か固定した技術を上から下へ流すために色々問題にされているように見受けられます。私達はそうではなく、農家農業経営の中の畜産問題を解決するために、我々自身や、技術作出の機関、或いは行政の側は何をしなければならぬかと言う方向で問題を考えるべきだと思ふ。酪農は基本的な酪農のあり方として好ましくないのだと言う考え方もあるが、しかし色々の経営を取りまく条件から考えて、当該経営が安定的に発展するものなら、むしろそれなりの価値を認めるべきだと思ふ。少し言い過ぎるけれども牛を飼っているのは農家以外の人のような気になることがある。

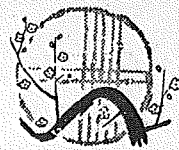
G……プランとプランニングと言うか、構想について指導者間の意識統一するとともに、一段一段の階梯計画について農家とともに進む方向を明らかにしつつ、問題の解決をはかる事が必要と思ふ。

C……今迄の技術問題は、家畜個体に即する部分技術が中心であったように思ふが、多頭羽と大規模な畜産経営では、

農家は我々にそんな事を要求していない現状を良く知ることから、本当の技術浸透問題が展開できると思う。

終りに

司会者……色々有難うございました。農技研の前経営士地利用部長長沢村東平氏が「基礎技術」「応用技術」「実践技術」と言う事を言われたが、正に農家が採用する技術は実践技術である。お話の中にもありましたように、「最高技術」でなく「最適技術」と言うこと、さらに技術を実践する農家の意識や行動の中に定着させる事が重要である。そのために我々は具体的にどうするかが中心問題であったと思ふ。従来ともすれば抽象的な平均的農家をとらえた技術指導であったものを、どこのだれとだれ、或は類型的に農家をとらえて、どこをどうすると言う具体的なものでなければならぬと思ふ。大変有難うございました。



水田裏作を利用してイタリアンライグラスを作付した場合を想定すると、一〇a当り収量六、〇〇〇kgの収量をあげれば、サイレージにする場合のロス(二五%)を見込むと五、一〇〇kgとなり一頭一〇aの作付をすれば良いことになる。

その栽培方法は第一表のようになる。表のようにイタリアンライグラス六、〇〇〇kgの収量は得られると思う。この他ライ表についても良好な品質のサイレージができるので、裏作として作付してかなり雪に強いので東北地帯の寒冷地によく育ち、然もかなりの収量がある。次に肉用牛飼養農家のサイロ設置状況を調べて見よう。

四 サイロ 設置状況

第1表 稲間中播きによるイタリアンライグラスの栽培

久米郡 中央町 9月20日 播種 (10a当り3kg)	種類 区分	施肥量 (10a当りkg)						收穫期 4/16 5/21 6/23	収量 5,841
		基肥			追肥				
		尿素	溶燐	塩加	炭加	尿素	塩加		
標準区		22.5	42	20	110	22.5	—	4/16 5/21 6/23	5,841
改善区		45.0	84	20	110	45.0	20	4/16 5/21 6/23	6,995

(岡山東飼料作物特別指導地昭和38年度成績)

第2表 サイロ設置状況 (サイロの大きさ5~8尺×8~12尺)

肉用牛飼養農家	平均	設置家%	成牛1頭当りサイロ基数
1 頭農家	0.16基	17%	0.16基
2 "	0.2	20	0.1
3 "	0.75	50	0.25
4 "	0.8	60	0.2
5 "	1.5	50	0.3

(岡山東和牛試験場報告第16号P5)

真庭郡新庄村で三十九年に肉用牛飼養農家三戸について調査したところ第二表のような結果を得た。

表のようにサイロの平均設置数は経営規模の増大と共に増加しており、一頭農家の〇・一六基に対し、五頭農家では一・五基になっている。また、成牛一頭当りのサイロ基数も一頭農家の〇・一六基から五頭農家の〇・三基まで増加している。三頭農家以上の経営規模では五〇%以上の農家が一基以上をもっているが、二基をもつものが三頭農家に二戸、四頭農家に二戸あり、三基のものが五頭農家に一戸みられる。

一般的にみてサイロの数が少ない。これは従来の和牛の飼養形態の影響もあることと思われるが、各農家とも一頭一基以上のサイロを設置し、水田裏作等でサイレージをつくるなど飼養基盤の充実をはかる必要がある。

五 サイレージの 役割と給与上の注意点

サイレージは家畜の消化器のはたらきをととのえ、これを常態に保ち、その結果皮膚の光沢を増し被毛の生長を促し、また、肉質を柔軟にし家畜の健康を保つことに役立つが、サイレージ給与上の一般的注意点としては、
① 過量に与えないこと。食い残しサイ

レージを長く放置すると腐敗し易い。
② 牧草または乾草と共に与えるのが安全です。
③ 酸などを添加して、酸度の著るしく高くなったサイレージを与えるときは、なるべく炭酸石灰のようなものを加えて中和すること。
④ 下痢を起している家畜に対しては、サイレージの給与は一時中止すること。

六 肉用牛に對するサイレージ 給与

(一) 肉用牛、肉牛
サイレージは肉用牛、肉牛の好みにも合っており、冬季飼料として適しているもので、給与適量は一〇~三〇kgで、牛によっては五〇kgも食べて支障のないものもある。硬実期につめたトウモロコシサイレージは養分のバランスが割合に合っており、肉牛にはもっとも適したサイレージで最高のものであるが、蛋白質の量が十分でないから、蛋白質の補給に注意するとともに、炭酸石灰を与えることと肥育牛の体重を著るしく増加させます。
また、妊娠牛(分娩前)に与えた場合時によっては流産することもあるので、量を減らし、一〇kg以下にした方がよい。

(二) 子牛

サイレージは子牛が四~五ヶ月令までの幼令期には給与しないが、五ヶ月以上で消化器がよく発達してきた子牛には利用できる。生後四~五ヶ月経過後は乾草と併用してサイレージ一kg程度から始めて次第に増し、六ヶ月令の離乳期までに四・五kg程度にする。もしサイレージを使用し始めてから子牛の発育が順調でないようなら給与量を減じて乾草の給与を増す。しかし、一年近いものには一〇~一五kgを与えるのが普通である。
萎調せずにつくったサイレージにはピ

タミンDがほとんど含まれていないので、骨軟症やケル病の予防効果はない。従って、子牛を日光にあてるとか、良質の乾草を与えることなどに注意する必要がある。

(三) 候補種雄牛

候補種雄牛のサイレージの給与量は〇・五kgに月令を乗じた範囲に制限して与える。すなわち、八ヶ月のものでは四kg以内、十二ヶ月のものでは六kg以内とします。ただし、一才以上のものでも八kgを限度とする。

(技師 大本 勲)

養鶏試験場だより

昭和四十年年度鶏経済

能力検定結果の概要

鶏の多羽数飼育化の進展にとまじ、養鶏経営は企業的な様相を呈するようになり、経営全般にわたって合理化が進められようとするのは当然のことである。そのため、飼養する鶏も、多産性のほかに、強健性や飼料の利用性が高いことな

るべきを具備したものが要求されるようになり、いわゆる経済性能全般について検定をおこなうところの経済能力検定事業は、益々重要なものとなってきた。
さて、ここに発表する昭和四十年年度の経済能力検定は、さきに決められた全国

統一の経済能力検定基準に基づいて、検定実施の依頼のあった九群についておこなったものである。
なお、検定成績は、この検定の目的にかんがみて、各群毎にとりまとめること

一 検定の 目的と対象

検定の目的は、孵化業者が一般養鶏農家に販売している卵用種ひなについて、育成から産卵期間をとおして検定をおこない、その鶏のもつ能力や特徴を明らかにして鶏育種改良上の参考資料とするのと同時に、養鶏農家がひなを購入する際の指針を与え、養鶏経営安定の一助とすることにある。

検定の対象は、養鶏振興法に基づく登録を受けた孵化業者が販売するひなであって、交配様式が明らかで、かつ、ひな白痢検査等の伝染病の予防を定期的に実施している種鶏群の子孫であることが必須条件である。

二 検定方法

(一) 検定羽数

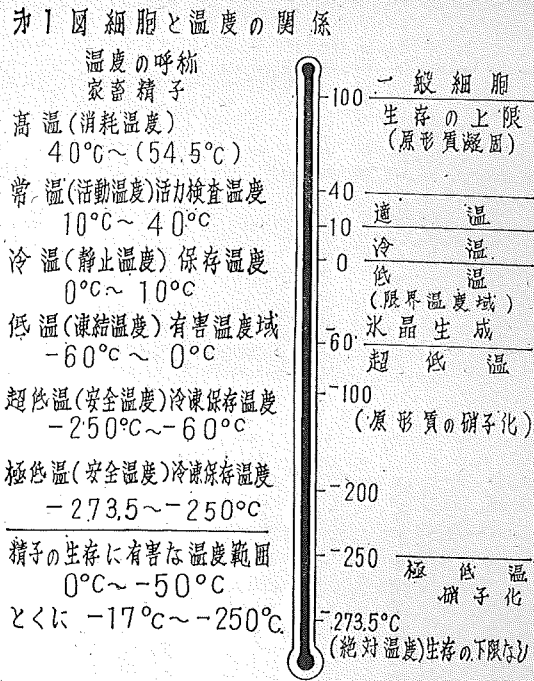
- (1) 育成期間 昭和四十年四月七日から同年九月四日までの一五〇日間。
(2) 産卵期間 昭和四十年九月五日か

(二) 検定期間

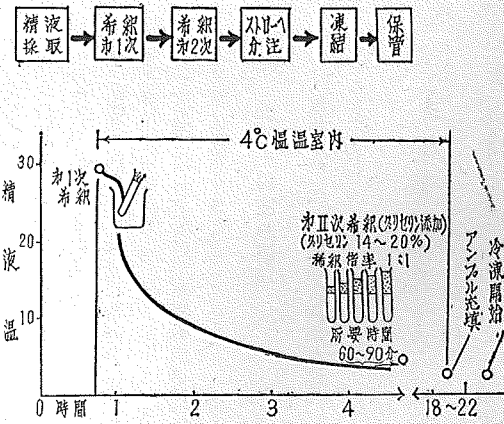
- (1) 管理 管理は当場慣行による方法でおこない、全期間立休管理とし、七八日令時に間口二・五センチメートルの単飼用ケージに収容した。
(2) 飼料 育成期産卵期ともに市販の完全配合飼料を給与した。
(3) 点灯 十二月二日から翌年の一月二十八日までは一三時間から漸次増加して一四時間とし、以後四月十五日まで、一四時間点灯とした。(日長時間を含む)
(4) 淘汰 検定期間中の淘汰または補充はおこなわなかった。

検定番号	検定依頼者名	鶏の銘柄	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
			育成率	ひな平均生存日数	生存率	成鶏平均生存日数	性成熟日数	ヘデ産率	ヘデ産卵数	ヘデ産卵率	平均卵重	成熟(10月)	飼料消費量(1羽1日)	卵質ハウユニット	卵殻の厚さ	経済性(羽1羽)
1	岡山市福田株式会社福田種鶏場	三原雑種	100.0	150.0	89.8	334.5	174	70.2	235	2.92	56.3	2,072	115.1	87.6	33.3	741
2	岡山市福田株式会社福田種鶏場	MLキンバーK137	98.0	149.0	93.9	339.7	172	70.6	240	2.63	59.9	1,942	111.2	98.8	36.9	870
3			98.0	149.2	77.6	309.5	175	66.4	205	2.87	51.9	1,773	98.7	87.2	33.6	506
4			96.0	148.4	81.3	335.5	196	56.2	188	3.04	59.9	1,853	102.3	92.1	35.1	505
5			98.0	149.8	73.5	299.1	175	62.8	188	2.92	54.3	1,826	99.6	90.1	33.5	452
6	邑久郡邑久町有限会社大田養鶏卵場	MLハノン系	100.0	150.0	86.0	325.9	172	67.5	220	2.74	57.2	1,899	105.6	88.8	34.4	788
7	井原市高屋町有限会社土肥種鶏園	MLドヒ63号	100.0	150.0	74.0	319.3	178	64.6	206	2.88	57.8	2,046	107.6	85.1	34.2	642
8	笠岡市尾坂高田種鶏改良研究所	ML特撰白レグ	100.0	150.0	92.0	335.0	167	70.3	235	2.79	55.3	1,844	108.5	88.8	34.5	819
9			98.0	148.5	79.6	322.2	193	64.2	207	2.89	52.5	1,800	97.5	86.4	33.7	540
計または平均			98.7	149.4	83.1	324.5	178	65.9	214	2.84	56.1	1,897	105.3	89.3	34.3	651

(注) 1. ①と②は0~150日令, ③④⑥~⑨および⑩は151~500日令⑬は0~500日令の成績である。
 2. ②は延生存羽数を餌付羽数で除した日数であり, ④は延生存羽数を151日令時羽数で除した日数である。
 3. ⑤は検定鶏群の産卵率が50%に達した日令である。
 4. ⑥は延生存羽数に対する総産卵個数の比率であり, ⑦は総産卵個数を151日令時羽数で除した個数である。
 5. ⑧は卵1Kgの生産に要した飼料の重量の比率であり, 総消費量を総重卵量で除した数値である。
 6. ⑨は総卵重量を総産卵個数で除した重点である。
 7. ⑩は2月に1日産卵分について測定したものの平均値である。
 8. ⑬は収入(卵価額, 肉価額)から支出(ひな価額, 飼料価額)を差し引いた額を餌付羽数で除した額である。ひな価格は実際販売価格とし, 卵価格, 肉価格および飼料価格は農林省統計調査部による農村物価賃金調査全国平均の実施年を含めた最近3カ年の平均価格を採用した。



第2図



予 告

乳用牛雄子牛若令肥 育経営技術指導指標

近日中に作成完了します

最近の肉用牛の絶体数不足から、今までは生後すぐにモールとしてつぶされていた乳用牛の雄子牛の肥育が検討されており、また実際に農家でも相当数を肥育している例もあります。

そこで岡山県畜産会では、県下の関係者を集めて同指標作成委員会を作り、県普及教育課林正夫主幹(委員長)を中心に作成を急ぎました。ここにできあがりました。

(三月末印刷終了予定)

技術者及び肥育希望農家にとって最高の書となるではありません。なお、部数がありありませんのでお早目に予約下さいませようお願いいたします。

予定価格 一五〇円

(送料含)

検定成績

検定の結果は、経済能力検定実施基準にしたがい、一三項目について取りま

酪農試験場だより

牛凍結精液について

昭和四十一年十一月から家畜改良事業団が行なう凍結精液の利用について、岡山県においても当酪農試験場がメインセンターとして精液の保管を行っている。精液を超低温に凍結して半永久的に保存するいわゆる冷凍保存法は、一九四九年英国のポルデラによって発見されたもので、その後今日まで一七年の間に世界各国で盛んな追試が行われ、アメリカ、カナダでは日常の人工授精に極めて広く普及されるにいたっている。日本におい

ても近い将来凍結精液に次第に切り換わることが予想されるので、凍結精液に関する一般的な基礎知識を述べ参考に供したい。

家畜精子と一般

細胞との温度の関係

細胞と温度の関係は第1図に示すと

りであるが、精子においては常温0°Cから精子に有害な温度0°C~10°Cをいかに早くとりあげ安全温度-80°C~120°Cにして保存することが重要なポイントである。

現行の

凍結技術

分類

イ 容器による区分
 ● アンプレルを使用する方法
 ● プラスチック製チューブを利用する方法
 (一) 現行の凍結操作の概略
 イ 精液採取 従来通り
 ロ 精液処理 液体窒素

● 錠剤化して使用する方法
 ● 稀釈液剤による区分
 ● 卵黄を含むもの
 ● 牛乳を使用するもの
 ● 緩慢な冷凍を行う方法
 ● 稲早い冷凍を行う方法
 ● 二段階
 ● 三段階
 ● 凍結凍結法
 ● ドライアイス

液体窒素

ハ 凍結準備
 ● グリセリン平衡を終った精液は精液封入容器(ストロー管)に充填する。まずストローに標識し、分注器または吸入法により精液を充填し(約5mlの

稀釈・採取精液量、精子濃度、精子活力を検査し、ただちに30°Cで一次稀釈をします。一次稀釈精液は約一時間半をかけて4°Cに冷却し二~三時間後4°Cで二次稀釈をします。すなわち稀釈精液と等量の二次稀釈液を五回にわけて約一時間かけて稀釈する。稀釈倍率は原則として一〇倍前後(一億精子/ml以上)にする。
 ● グリセリン平衡・グリセリン平衡を六~一八時間行う。
 ● グリセリン平衡を終った精液は精液封入容器(ストロー管)に充填する。まずストローに標識し、分注器または吸入法により精液を充填し(約5mlの

空隙を残す)、上端を密閉するか、ストローパウダーで閉封する。

二 凍結操作

LN G-100を使用する簡単な方法を紹介します(液体窒素を使用する方法)

④ 着脱容易な皮手袋、長靴、保護眼鏡などを身につけ、服装をととのえます。

⑤ 凍結器に液体窒素を入れる。LN G-100の場合3/4入れ、槽内の液体窒素の深さは約10cmになる。

⑥ 凍結器に液体窒素を入れてから約二分で器内は超低温に安定する。すなわち液体窒素を凍結器に入れてから約数分後に凍結を開始できる状態になる。

⑦ LN G-100の恒温室でストローを金網かごに装填する。

⑧ 金網かごを凍結器に装着する。⑦の恒温室内の金網かごを恒温室外の凍結器に装着する際は、精液温度の上昇を防ぐためにできるだけすばやく行い金網かごの底が液体窒素面に接触する直前まで下げそれ以後は微動ネジで下げて金網かごの底を液体窒素面に接触させます。金網かごの液体窒素への接触はガスの急激な発生により分る。接触後さらに0.5〜1cm下げてから固定させます。

⑨ 金網かごの底が液体窒素に接触してから1〜5分間そのままにしておく。これにより凍結操作は全て完了する。

(注) LN G-100は液体窒素ガスによる簡易急速凍結器でストロー管100本用のもの

三 凍結精液利用の得失

(一) 精子の凍結保存の利点

ア 精子の受胎力を半永久的に保存できること

イ 優秀な種雄畜が効率的に利用されるので家畜改良が促進される

ウ 季節的な受胎率の低下に防止し得る精液の利用率を大巾に引き上げ得る

エ 精液の国際、国内間の広範囲な交流が期待できる

カ 不用の種雄畜を淘汰することにより種雄畜の飼養管理に伴なう購入費、飼料費、人件費、施設費などが節約できる

キ 人工受精センターの数を減少し、施設の拡充整備を望み得ること

ク 農家の希望する種雄畜の精液が入手できる

(二) 精子の凍結保存の次点

ア 液状保存に比べて高い経費、および設備が必要であること

イ 耐凍性不良の精子を持つ個体

が存在すること

ウ 融解後の実用保存期間が短いこと

エ 精液の処理、取扱いが煩雑なこと

オ ドライアイス液体窒素の入手に困難な地域のあること

カ 精液を広範囲に使用するため、不良な個体の精液を使用した場合その影響が大きいこと

四 液体窒素の取扱い上の注意事項

ア 手袋は大き目のものを使用しLNが入ってもすぐ脱げる様にする。

イ 底の厚い靴をつけその靴をスポンで被い前掛をつけること。

ウ 顔被いをつけること。

エ LNを移す時は熱湯を移すと同様な注意で始め徐々に注ぐこと。

オ 爆発を防ぐため容器に付属した栓以外は使用せぬこと。

カ 密室にはおらず作業室等の換気には常に注意すること。

授精上の注意事項

授精部位は、子宮頸管深部が適当方法 直腸、膣法 頸管鉗子法

- (1)凍結精液は融解後できるだけ速かに使用する(三時間以内)
- (2)衛生的な順慮を行うこと(凍結下でも細菌は死滅しない)

五 融解

- (3)保存器から出したら速かに冷水(5.0℃)中に浸し融解する
- (4)精液融解は雌牛の発情鑑定を行うてより実施すること

融解はアンブルまたはストローを水中に浸漬して行われるが、そのさいの水の温度については、+20.0℃+5.0℃(氷水)が一般に使用されている

冷水中にアンブルストローを浸漬すると三〜五分で精液は融解する。そのさいアンブルストローに厚い水の層ができる。これを除去するのが無難であるが、そのままにしているところもある。ストローは完全に水につけ、出し入れはしないこと。融解後は気泡が移動するので解る。融解後ストローの水を抜きとり、アルコール綿で清拭した後、授精に移る。

以上簡単に凍結精液について参考まで述べましたが、凍結精液についてご不審の点は何でも結構ですから、酪農試験場まで問い合わせ下さい。(文責 坂尾技師)

防疫に



養鶏農協だより

岡山県養鶏農業協同組合

万全を

ニューカッスル病が広く発生し 毒性の激しいアジア型で大被害

数年来、毎年のようにニューカッスル病が各地に発生し、養鶏家に著しい犠牲を強いて来りました。特に一昨年から昨年の春にかけて九州各地で流行したニューカッスル病は、毒性の激しいアジア型(またはヨーロッパ型と呼ぶ)がまじっていたのではないかと疑われ、ウイルスの活動が再び盛んになる昨年から流行が心配されていきました。予防注射の励行が叫ばれ、予防ワクチンの契約生産も始められました。しかし、昨年の秋、気温が低くなるに従って最悪の状態が、今度は関東地方に現われました。

関東地方の一部では、ニューカッスル病が常在化していると伝えられる地域もあるにはありますが、今度の発生流行の様相は、従来とは全く異なる激しいものでした。病状が悪性で、短期間に広く伝染してしまいました。恐れられていたアジア型(ヨーロッパ型)だといわれて

生毒ワクチンの使用許可の可否

生毒ワクチンは、飲水の中へ入れて飲ませたり、鼻腔や眼に点滴、スプレーで噴霧したりする接種方法なので、一羽ずつ捕えて注射する死毒ワクチン(不活化ワクチン)より非常に省力的です。ワクチンの値段も、問題にならないほど安いので、予防接種を普及させることが容易だと思われまます。特にブロイラー育成では、死毒ワクチンの注射はほとんど考えられず、関東地方でも伝染源の一つにな

っているそうですから、生ワクチンを使用を要望するのは当然といえましよう。生ワクチンは、神奈川県と栃木県の数カ所野外実験が行なわれていまして、間もなく結論がでるでしょう。

現在、発生地として発表されているのは埼玉、茨城、千葉、東京、神奈川、静岡、福岡、佐賀、大分の各地に広く、一般論からいえば、もはや生ワクチン使用にふみ切らざるを得ないのではないかとわかります。特に、急激に盛んになったブロイラー育成の場合には、生ワクチン使用以外の予防方法がなく、これに生ワクチン使用を許せば、自衛上採卵養鶏家も生ワクチン使用を求めると当然でしょう。

その反面、生ワクチン使用反対説も根強く残っています。

適量接種が確認できないので、度々投与する必要があり、弱毒といえども生毒であるから、ウイルスを鶏が排泄している。そのウイルスが、鶏体を継代していく間に、強毒化するおそれがないという保証はない。生ワクチン使用により、呼吸器疾患等を誘発するおそれがあるので、抗生物質等を併用する必要があり、あまり安価にはならない。等がその理由です。

この文を書いているとき、津山市にニューカッスル病らしい病気が発生したと伝えられました。恐ろしいことで、もしそれが真実であるとするなら、万全な伝染防止対策をたて、狭い範囲に止めて頂きたいと熱望します。

秋期高等登録審査成績

昭和41年度秋期高等登録審査は日本ホルスタイン登録協会より中村敬止審査委員(11月29日~12月4日)および加藤純之輔審査委員(12月5日~12月15日)を迎え、関係機関の御協力を得て実施の結果、ホルスタ

イン種牝牛165頭、同種牝牛2頭、ジャージ種牝牛2頭、計169頭が合格したので、その成績を載せ御参考に供します。

名号	生年月日	登録番号	血統	父母	所有者	得点	所属組合
ノースランド ウォーカー ドンプライド	38. 8.18	628581	コマンドー プライドウォーカー ミソノ	ノースランド ウォーカー ドンロベル	津山市下高倉 牧 英雄	76.4	北部
ジョハナ パレード コランサス ルンド	39. 3.16	646669	アールチェ コランサス パレード	ジョハナ ロメオ ドラ ルンド	津山市下高倉東 本多 林	76.4	"
ヘンドリック コマンドー パートン ベッス	38.10. 5	620844	コマンドー プライド ウォーカー ミソノ	ヘンドリック アスター ベッシー プライド	勝田郡勝北町 内田 孝一	76.3	美作
スパルチング ベッシー リーダー オバナ	38. 2.12	634424	ベッシー リーダー	スパルチング オバナ ヘスター	" " 内田 享	76.1	"
ポンチアク マラソン ズウアルチェ セニョー	38.12. 6	633322	マラソン ベッス パーク フォーブス	ポンチアク コマンドー ウォーカーセニョー	" " 内田 冊夫	76.0	北部
アーチス ウォーカー ポーラ グレース	37.12.23	524314	ウォーカー プロスペクト アスター	アーチス チレマック ローヤル	" " 竹内 昌一	76.2	"
ヘンガーヴェルド プロスペクト アスター ローヤル	39. 1.23	621902	ウォーカー プロスペクト アスター	ヘンガーヴェルド ガヴァナー ヴァージニア	" 奈義町 有宗 国夫	76.3	"
メリー ライムライト パーク ベッシー	38. 7.11	591686	キング ライムライト チュンキー	メリー ベッシー ヴィクトリア	" " 奥 幹穂	76.1	"
ブレンチ アスター テッチェ コパーク	38.11.12	621908	ウォーカー プロスペクト アスター	ブレンチ コパーク ベッシー アイダ	" " "	75.6	"
メクシルド レフレクション マーセー	37.11.15	506124	エー ビー シー ゴールデン プリン	メクシルド イムペリアル マーセー	" " 植月嘉弥雄	76.5	"
サラス ガヴァナー ゴリアス グレース	38.10.29	596287	ウォーカー プロスペクト アスター	サラス コマンドー ジェラルド	" " 豊国 綾男	75.9	"
第2 ジュウエル サリー	38. 1. 2	545910	カーネーション ローカル プリン	ジュウエル ガヴァネス マタドーア	" " 有元 克義	77.1	"
コランサ ロータル パーク マーガレット	38.10. 1	609023	ジェネラル サー ロータル マラソン	コランサ フォーブス パーク	" 勝央町 東 定夫	76.0	"

生乳生産量調べ (県酪連取扱数値)

年 度	月 別	乳 量									
		41.4	5	6	7	8	9	10	11	12	
40年	乳 量 t	6,127	6,631	5,722	5,169	5,160	4,936	4,961	4,783	5,135	
	2等乳率%	0.67	1.00	1.84	3.13	2.00	1.91	1.02	1.06	0.59	
41年	乳 量 t	6,925	7,327	6,566	5,705	5,114	4,923	5,277	4,971	5,268	
	2等乳率%	1.03	0.62	1.76	1.91	2.70	1.94	0.99	0.61	0.43	
前年対乳量比%		113.3	110.8	115.1	110.9	99.5	100.1	106.7	104.1	102.8	



酪連だより

酪農課税

標準決定さる

本会では昨年十月末、会員のご協力を戴き牛乳の生産費調査及び国税局に対する要望事項等を取まとめ、中国各県の指定団体とも緊密な連絡のもとに適正な課税が行われるよう広島国税局と教次に互り種々強力な接衝を重ねてきましたが、二月二日広島市において別表1のとおり内示が示されました。

しかしながら搾乳量が現実より多いとす。たし、ま

討て再検して強く要望した結果、国税局では我々の要求を諒として大中に認め、翌三日別表2に修正する旨を約し、二月十日正式に昭和四十一

別表1

(内示案)

種 目	区 分	単 位	標 準	収 入 金			必 要 経 費				差 引 所得額	
				乳量	単価	金額	公租公課	飼料費	償却費	その他		計
乳 牛	山(萩、長門除く)	陽	1頭当り 固定経費42,500円 比例経費41%	4,269	38.8	165,637	270	80,967	19,098	10,808	111,143	54,494
	山(萩、長門含む)	陰	1頭当り 固定経費42,500円 比例経費42%	4,227	38.7	163,584	270	80,849	18,841	11,055	111,015	52,569
乳牛産	山	陽	1頭当り 固定経費11,000円 比例経費34%									
飼料畑	山	陽	10アール当り 7,700円									

(注) 乳牛4頭以上は1頭につき3,000円を控除する。
自家飲用量は1戸当り200Kg

別表2

昭和41年分酪農課税標準

種 目	区 分	単 位	標 準	収 入 金			必 要 経 費				差 引 所得額	
				乳量	単価	金額	公租公課	飼料費	償却費	その他		計
乳 牛	山(萩、長門除く)	陽	1頭当り 固定経費42,500円 比例経費43%	4,088	38.86	158,680	270	80,967	19,098	10,808	111,143	47,717
	山(萩、長門含む)	陰	1頭当り 固定経費42,500円 比例経費43%	4,048	38.76	156,900	270	80,849	18,841	11,055	111,015	45,885
乳牛産	山	陽	1頭当り 固定経費11,000円 比例経費34%									
飼料畑	山	陽	10アール当り 7,700円									

(注) ◎乳牛4頭以上は4頭目から1頭につき3,000円を控除する。
◎自家飲用量は1戸当り200Kg、育成哺乳牛1頭当り50Kgとす。
備入費は別途控除する。
その他牛馬耕賃、共済掛金、診療費、ミルクカー、カッター、動力草刈機、クレーン、電牧設備、索道設備等は昨年どおり実費により控除する。
(◎印は今年新しく認められたもの)

牧草地

の施肥設計

(牧草、飼料作物の生産と利用技術(日本中央競馬会弘済会)より)

◎ 草地の施肥

1. 牧草地に対する施肥

我国では最近、草地造成が進められて牧草の増産があがっているが、その要因として施肥技術の進歩を第一にあげることができ、草地の開墾と増産は、大型機械の利用と施肥によって支えられているが、しかし、牧草地の維持管理と牧草利用技術の遅れは、草地造成の効果を甚だしく悪いものにしていくといえる。

牧草地への施肥は、土壌改良のための資材としての施肥と、牧草の生育に必要な肥料としての施肥が考えられる。

作物を栽培する場合、基肥と追肥に区分して施肥設計がたてられるが、牧草の場合、特に追肥の回数と施肥の時期および肥料の種類が重要な関係をもっている。牧草は土壌が肥沃であればあるほど、また多肥すればそれに応えて増収という結果が得られる特徴をもっている作物なのである。

しかし、たゞ肥料養分量を施すのみで経済的によい効果をあげられるものとは限らない。多肥に耐え、またそれによって増産はできるが、施肥の効果は、施肥量、施肥方法、牧草の種類、播種期、栽培様式、刈取りの時期および回数刈取りの高さ、気象条件などによって強く影響

を受けるので、所要量を無意味に投入しただけでは施肥効果が期待できないのは当然である。

2. 野草地に対する施肥効果

野草地に対する施肥効果は、地表面に散布するだけのほうが、散布後地面を掻きならしたり、地表下に施すより成績がよいという報告がある。それも条施(条間60cm)が全面散布、点施よりもすぐれている。条間は60cmの場合が一番よく、リンサンの効果が高い。チソは全面でも条施でもよい。

施肥の時期は、秋季(十月十一月)より春季(三月四月)のほうが効果が高いとされている。

野草地の利用の場合、施肥して増収を図るのみよりも、優良野草の種子を追播して草生をよくした方が更に有利である。牧草を導入する場合は、野草と牧草がちょうどよい割合の状態での混在がむずかしく、どちらかが、優占してしま

はイネ科よりリンサンの効果が大きく、リンサン単用でも六一%の収量をあげることができ、ついでカリの効果で、カリ単用よりリンサンとの併用が効果は更に大きくなる。

牧草に対する施肥は、天然養分供給量の大小を調べ、生育を制限する因子となっている要素を十分に施用することが必要で、特定の要素のみを多く施したために土壌の状態を悪くしたり、施用した要素が他の要素の働きを阻害したりすることのないよう、養分的に均衡のとれた施肥が大切である。

マメ科は酸性土壌に弱く、石灰の吸収量がイネ科に比べ約五倍といわれているから、石灰施用の効果は大きい。マメ科牧草に、化学肥料を合理的に施しても増収にならない場合は、ほとんど土壌が酸性のためと思つてよい。従つて厩肥の施用効果はマメで高い。ただし厩肥を追肥に利用する場合は散布がむづかしく、また放牧地では家畜の嗜好とも関係するので、基肥として十分施すのが最も得策である。

3. 牧草に対する施肥効果

イネ科とマメ科では異なっているが、リンサン欠の土壌では相方ともリンサンの施肥効果が高い。

イネ科はリンサンVチソVカリ、マメ科はリンサンVカリVチソの効果順である。しかしイネ科では、リンサン欠の土壌でもチソの効果が高い。マメ科

4. 施肥の配分

基肥として一度に全量を施すか刈取り毎に分施するかの方法がある。試験結果では、年間収量は基肥区が追肥区より勝っている。これは一番草が多いためである。生育適期に施肥効果が現われるように施すことが大切である。土壌中で移動

し易いチソ・カリは一〇a当り三〇kg(成分量)以上の多量を施す場合は、全量を元肥とするより、一部を早春または刈取り毎に追肥するほうが効果が多く期待できる。

リンサンは、イネ科に対しては基肥にするよりチソと併用して追肥するほうがよい。マメ科では元肥として施用するのがよい。リンサンは牧草の種類と土壌のリンサン肥沃度とによって用い、リンサン欠の土壌では播種時に多く用い、リンサンの多い土地では分施するのが効果的である。

作物の生育に必要な一肥料成分が不足しても、その不足成分が生育を左右するから、旺盛な生育をさせるためには追肥を必ず行う必要がある。元肥のみで追肥をしない牧草地は、二年目より急激に収量が落ちる。三要素を十分基肥として施している混播牧草地での追肥効果は、チソ、リンサン、カリの順に現われるが、いずれもそれ単用では効果はあまり期待できない。

5. 追肥の種類と方法

(1) イネ科牧草

イネ科単播の場合はチソの肥効が極めて高いが、単用では二年目から急に草

地が荒廢する。二要素の併用でも同じである。

イネ科牧草を永く作ると、根が非常に

はびこつて土壌が固くなると、土地は酸化の状態から還元の状態(アルカリ性)になり、有機物の分解、硝酸化が進まなくなり、チソが多いにもか、わらずチソ飢餓の症状を示す。従つて、イネ科牧草に対しては、刈取り毎にチソを主体とした追肥を必ず行うことである。

(2) マメ科牧草

マメ科単播地へのチソの追肥は効果が少ない。リンサンとカリ、特にその併用は肥効が大きい。また栽培年数が経過しているものほど効果が大きい。

(3) 混播牧草

イネ科とマメ科の混播地への追肥では、イネ科にはチソの追肥が最も有効であるが、二年目にはリンサンVチソVカリの順になり、三年目になると無しリンサンの場合は収量が著しく低下して行く。マメ科にはチソは効果がなく、リンサンが有効である。石灰は両方に有効であるが、特にマメ科に高い。

混播牧草地はチソの多少によって牧草の構成に大きく影響をうけ、チソを多給するとイネ科優占となる。

追肥の方法による違いはあまりなく、むらのないよう追肥することが大切だ。

(4) 追肥の時期

牧草が最も旺盛な生育をする時に、十分効くように施すのがよい。

秋季の追肥は一番草、春季の追肥は二番草の収量を増す。年間の総収量をあげるためには秋期追肥が春季追肥より有効

であるといわれているが、これは春季追肥の時期を早めることによつて解決される。土壌中で移動し易いチソ、カリは春季追肥とし、リンサンは秋期追肥とするのがよい。

元肥のみだと、一〜二番草はよいが、それ以後の収量が急減するから、追肥によつて年間平均化ができる。しかし、暖地では七月八月の高温干熱時に追肥すると、反対に施肥によつて障害を起すことがあるので、多量の施肥はひかえる。夏季以外は、施肥量が多いほど収量も多くなるが、一〇a当り二kg(成分量)以下の追肥では効果が小さい。施肥量を均分して追肥するより、生育の旺盛な時には多量に、夏枯れ時には少量にというぐあいに配分して施すのがよい。

◎ 施肥の経済性

生草一kg、粗たん白質一kgの生産に要する肥料費は、チソ施用量の増加によつてイネ科では安く、マメ科では高くなる。リンサンを増すと、反対にイネ科では高く、マメ科では安くなる。混播ではいづれの増肥によつても安くなる。従つて、チソを多く用いる場合はイネ科の牧草が有利に、リンサンが多い場合はマメ科牧草を作るのが有利になる。また、イネ科よりマメ科牧草のほうが、一kg当りの肥料代は安い傾向がある。しかし、増収を図つた場合、イネ科で

◎ 施肥設計

施肥設計は、草地の状態、広さ、家畜の飼養形態などによつて異なるが、基本的には目標とする生産量をあげることが先決である。従つて、一番簡単に考えると、その生産量中に含まれる肥料成分量を調べ、施肥量を決める。これを基準にして生育状況を観察しながら是正し、生育に必要な肥料と、土壌改良に必要な量とを計算して適期に施用することが必要になる。

牧草の生草中に含まれている肥料成分は、おおむね第一表のとおりである。

北欧型牧草は、生育適温は一七〜二二°Cで、良好な条件下では、オーチャードは刈取り後二四時間で二・五〜三・〇cm伸びる。一日に三・〇cm前後伸びている牧草地は、管理が行き届いていることになる。

次に掲げている施肥設計はあくまでも理論値であるから、実際面ではこれを基準にして、時期別の状態などを観察しながら、効果の挙がる施肥を行うことである。

1. 利用初年目の施肥量

目 標 収 量	項 目	開 墾 地									イ ネ 単	
		イ ネ 科 単 播			マ メ 科 単 播			混 播			イ ネ 単	
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅
5,000Kg	成分吸収量	20Kg	5	30	30	5	20	25	5	25	20	5
	天然養分供給量	10Kg	0	20	25	0	10	15	0	17	10	3
	補給必要量	10Kg	5	10	5	5	10	10	5	8	10	2
	肥料の吸収利用率	60%	20	70	100	20	60	80	20	60	80	20
	施肥量	17Kg	25	14	5	25	17	13	25	13	14	10
10,000	成分吸収量	40	10	60	60	10	40	50	10	50	40	10
	天然養分供給量	15	0	35	55	0	16	27	0	30	15	5
	補給必要量	25	10	25	5	10	24	23	10	20	25	5
	肥料の吸収利用率	60	20	70	100	20	60	70	20	60	70	20
	施肥量	42	5	36	5	50	40	33	50	33	36	25
15,000	成分吸収量	60	15	90	90	15	60	75	15	75	60	15
	天然養分供給量	25	0	50	85	0	20	43	0	35	15	8
	補給必要量	35	15	40	5	15	40	32	15	40	35	7
	肥料の吸収利用率	60	20	60	100	15	60	60	20	60	70	20
	施肥量	58	75	67	5	100	67	53	75	67	50	35

2. 利用2年目からの追肥全量

目 標 収 量	項 目	開 墾 地									イ ネ 科 単	
		イ ネ 科 単 播			マ メ 科 単 播			混 播			イ ネ 科 単	
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅
5,000Kg	成分吸収量	20Kg	5	30	30	5	20	25	5	25	20	5
	天然養分供給量	5Kg	4	20	30	3	5	15	4	11	5	4
	補給必要量	15Kg	1	10	0	2	15	10	1	14	15	1
	肥料の吸収利用率	60%	10	70	—	10	60	50	10	70	60	10
	施肥量	24Kg	10	14	0	20	25	20	10	20	24	10
10,000	成分吸収量	40	10	60	60	10	40	50	10	50	40	10
	天然養分供給量	10	8	40	57	6	15	30	7	25	10	8
	補給必要量	30	2	20	3	4	25	20	3	25	30	2
	肥料の吸収利用率	60	10	70	100	10	60	50	10	70	60	10
	施肥量	50	20	28	3	40	42	40	30	36	50	20
15,000	成分吸収量	60	15	90	90	15	60	75	15	75	60	15
	天然養分供給量	20	12	60	87	9	25	40	10	45	20	13
	補給必要量	40	3	30	3	6	35	35	5	30	40	2
	肥料の吸収利用率	50	10	60	100	10	60	50	10	60	50	10
	施肥量	80	30	50	3	60	58	70	50	50	80	20

上表の施肥設計は、化学肥料による場合であるが、家畜の糞尿を草地に還元する場合はその含有成分量だけリンサン0.3%（利用率80%）、カリ0.6%（利用率90%）、牛尿はチッソ0.5%、リンサン痕跡、カリ1.5%（なお飼料中に含有される成分の回収率はチッソ74%、リンサン62%、カリ88%、石質82%、苦土94%であるを計算してもよい。すなわち、1日当り糞は体重の5%、尿は体重の2%として計算する。

（農林省草地部小原氏による）

播	熟 畑						転 換 畑								
	マ メ 科 単 播			混 播			イ ネ 科 単 播			マ メ 科 単 播			混 播		
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
30	30	5	20	25	5	25	23	5	30	30	5	20	25	5	25
15	27	2	10	15	2	14	12	4	23	27	4	12	17	4	17
15	3	3	10	10	3	11	8	1	7	3	1	8	8	1	8
90	100	32	70	90	20	80	80	20	90	100	20	70	90	20	80
17	3	15	14	11	15	14	10	5	8	3	5	11	9	5	10
60	60	10	40	50	10	50	40	10	60	60	10	40	50	10	50
30	55	4	20	30	5	25	15	7	45	55	6	25	32	5	35
30	5	6	20	20	5	25	25	3	15	5	4	15	18	5	15
80	100	20	70	80	20	70	80	20	80	100	20	70	80	25	70
38	5	30	29	25	25	36	36	15	19	5	20	22	23	20	22
90	90	15	60	75	15	75	60	15	90	95	15	60	75	15	75
60	85	10	30	43	8	45	15	10	70	90	11	40	50	10	55
30	5	5	30	32	7	32	35	5	20	5	4	20	25	5	20
70	100	15	60	70	20	70	70	20	70	100	15	60	70	20	70
42	5	33	50	42	35	46	50	25	29	5	27	33	36	25	29

播	熟 畑						転 換 畑								
	マ メ 科 単 播			混 播			イ ネ 科 単 播			マ メ 科 単 播			混 播		
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
30	30	5	20	25	5	25	20	5	30	30	5	20	25	5	25
15	30	3	5	15	4	9	5	4	15	30	3	5	15	4	9
15	0	2	15	10	1	16	15	1	15	0	2	15	10	1	16
70	—	10	60	50	10	70	60	10	70	—	10	60	50	10	70
21	0	20	25	20	10	23	24	10	21	0	20	25	20	10	23
60	60	10	40	50	10	50	40	10	60	60	10	40	50	10	50
38	57	7	15	30	8	20	10	8	38	57	7	15	30	8	20
22	3	3	25	20	2	30	30	2	22	3	3	25	20	2	30
70	100	10	60	50	10	70	60	10	70	100	10	60	50	10	70
30	3	30	42	40	20	40	50	20	30	3	30	42	40	20	40
90	90	15	60	75	15	75	60	15	90	90	15	60	75	15	78
50	87	11	20	40	12	35	20	13	50	87	11	20	40	12	38
40	3	4	40	35	3	40	40	2	40	3	4	40	35	3	40
70	100	10	60	50	10	70	50	10	70	100	10	60	50	10	70
58	3	40	67	70	30	67	80	20	58	3	40	67	70	30	67

化学肥料が節約できる。堆肥、牛尿の肥料成分含量は様ではないが、厩肥（牛糞）はチッソ0.5%（利用率30%）、利用率100%）として計算する。従ってこの成分にそれぞれの吸収率を乗じ、減じた量だけ化学肥料で補えばよい。また家畜の排泄量から還元養分量

新

☆いよいよ出ました☆

肉用牛経営(子牛生産)技術指導指標

申込み先 岡山市桑田町1の2

岡山県畜産会(2) 8575

口座(岡山) 8575

(前金にてお願いします)

定価150円(送料45円)

作製 社団法人 岡山県畜産会

製作担当者	林 正 夫 (責任者)	渡 辺 滋 樹	嘉 寿 頼 栄
	栗 山 光 春	安 増 荘 一	梶 並 嘉 芳
	片 寄 功 宏	大 本 勲	
作製協力者	和田 宏	渡 辺 明 喜	
協議機関	岡山県畜産課, 農政課, 普及教育課		

指標内容

- 標準技術体系
- 飼料基盤
- 牛舎と他の施設
- 子牛の育成
- 繁殖子牛の選択
- 放牧採草地
- 草地の維持管理
- 収支の試算
- 問題点とその解説
- 技術経営指標
- 所要労働力
- 繁殖牛の飼い方
- 老廃牛の肥育法
- 繁殖のしかた
- 草地の利用
- 放牧衛生
- 算出基礎

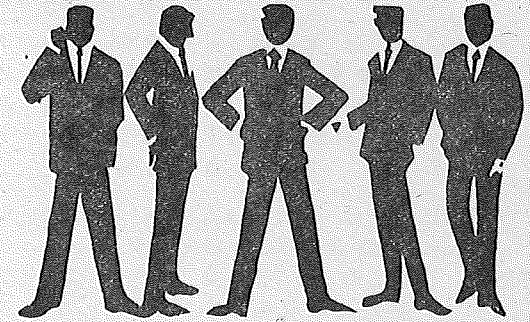
肉用牛は最近の牛肉の需要増から生産を上廻ってと殺されているが、その生産意欲は収益が低いことから増々減少している。しかし肉用牛経営にも、僅かな労力で飼養でき、更に他の作目では利用できないような山林原野を大いに利用できるなど、利点もまた多くある。

そこでこの指標では、簡易化された施設と、全面的な放牧方式を採用した繁殖雌牛常時八頭経営で、年間所得三〇万円(所得率四一%)をあげるモデル経営を作っている。そのための経営技術、飼養技術、特に草地の簡易造成並びにその適切な維持管理、効率利用、更に放牧衛生面などを重点的にかつ詳細に、岡山県の肉用牛関係の最高権威者が解説している。

洗練された都会センスの高級紳士服

舶来品と各種有名メーカー品取扱い

(岡山県畜産会推奨)



東洋紡績KK }
御幸毛織KK } 各社総代理店
野村産業KK }

株式会社 鈴木物産

岡山市富町1丁目1の4 TEL 52-2391

(本誌の)予約(申込)要領

誌代 一部 五十円(送料共)
年間予約六百元(送料共)
但し一部購入の場合は増頁号の誌代をその都度の価格とし、年間予約者は増頁特集号の分も一部五十円のサービス価格とす。

集団申込の特典

十部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十五円にします。百部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十円に割引きます。但しこの場合は一括購読です。個人別発送は致しません。

申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所氏名明記の上申込んで下さい。集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としております。

申込先

岡山市桑田町一丁目二番地
社団法人岡山県畜産会管理普及課
(電話)岡山②18575番
(口座番号)岡山八五七五番

編集室より

三月に入り、奈良東大寺二月堂のお水取りが終ると毎年本格的に春となってくる。今年の冬の寒さは特に厳しかったが春の気配は早やめに訪れたので牧草類の伸びがよくなる事だろう。

さて畜産についての色んな試験研究がなされているが、これら研究結果の発表が最終的段階である末端農家までにはなかなか行き届かないということがあるし、この試験結果をかみくだいたものにして流されにくいと言える。普及員の先生方の研究調査がなされたものもやはり畜産農家に十分に浸透しにくいという声も聞かれる。それは普及事業そのものが個々の農家を対象としていないことによる。

本誌もこの不備な点を補完するための取つき役として努力を払いたいと考えている。

岡山畜産便り(三月号)

第十八巻 第三号

(通巻第七十六号)

昭和四十二年三月一日 発行

発行人 惣 津 律 士

編集人 花 尾 省 治

発行所 岡山市桑田町一丁目二番地

岡山県畜産会

電話岡山②八五七五番

振替 岡山八五七五番

印刷所 岡山市駅前町

二丁目五番二二番

西尾総合印刷株式会社

定価 一部 五十円(送料共)

養鶏経営指導指標

価格200円 送料45円

すぐれた指針の数値です

養豚経営指導指標

価格150円 送料45円

近代的な養豚経営の目安として

こわい鶏の疾病

ニューカッスル病の話

小野登志男
岡山県養鶏農協組合参事

春一番が吹き荒れて、各地でかなりな被害があったと報せられました。だが、春風の去ったあとにはうららかに霞み、行楽地は何処もにぎわっているようです。しかし、養鶏界の春一番は長く、しかも二番三番どころか、数百番にも及ぶ広範囲に荒れ回り、各地に大きな爪あとをむざむざにも残しつつ、未だに何処かで荒れています。

花が咲いた花が咲いた花が咲いた。だが全国の約半分近くの府県の養鶏家は、センセンキョウキョウとして花見どころではありません。いつも、誰もが、心配そうな顔ばかりはしていません。腹の中は暗然としたやり切れない気が常にわだかまっています。養鶏界の春一番、それはニューカッスル病という名の最悪病です。

暖くなってコートを脱ぐと、大変軽快で結構ですが、ご婦人のミニスカートは、いけません。ニューカッスル病より以上に毒です。ニューカッスル病のウィルスは、稀に人間の眼に結膜炎をおこすことがあります。ミニスカートは二六時中目の前をチラチラし、ノーストッキングも少なくありませんから、こちらの目つきまで変になりそうです。もう少し先になると、これにノースリーブが加わりますからますますすすいけ

ません。色眼鏡でもかけて、目つきをごまかそうかと本気で思っています。

獣医のW君は、昨年の春結婚したばかりです。彼は指導課に属していて、毎日種鶏家の衛生管理の指導に巡回しています。一月下旬のある日、茨城県竜ヶ崎市にある関東支場から、種鶏の自衛検診を応援のため、指導課へ一人一週間予定の派遣を求めて来ました。課長のK君は、W君を指名して一月三十一日に出発させました。その数日後、茨城県下にニューカッスル病が発生し、関東支場は緊急防疫体制を敷きました。一週間過ぎても、二週間経ってもW君は帰れません。奥さんからは、本人へも本社にも、毎日のようにいつ帰るかときいそぐがあります。非常事態だからと、ようやくなんとかしてもらい、奥さんのお母さんに社宅へ来て頂きました。

W君がようやく帰ったのは、一週間どころか一月を過ぎた三月五日でした。あたかもそのときは、三月一日に津山市にニューカッスル病が発生したので、本社も研究所も緊急防疫体制に入っていました。疲れて帰ったW君も、ゆっくり休むことができません。近いうち、菓子箱でも持って、奥さんにおわびに行きたいと思っています。

あなたも受けてみてはいかがですか

(昭和42年度畜産コンサルタント事業受診農家団体募集)

社団法人 岡山県畜産会

昭和四十一年度の畜産コンサルタント事業及び新しく始まった中核農業者群育成事業もほぼ終了し、三年目を迎えたコンサルタント事業は、診断助言の方法も改善され、受診者の畜産経営改善に相当の効果を挙げたものと確信しております。中核農業者群育成事業もコンサルタント事業受診地区内に中核農家を優先的に設置し、中核農家を中心にグループ指導を大々的に行なっています。

ところで、現在岡山県畜産会では昭和四十二年の受診希望農家及び団体を募集しております。県下のトップクラスの先生方による診断助言を受けて、大いに畜産経営の合理化に勤められるようにお奨めいたします。

- 1、畜産コンサルタント事業の概要
- 2、指導員に対する旅費、教材その他支給状況
 - (1) 旅費——毎月四日平均、年間三十六日以上を指導に従事し、出勤日数に応じて指導旅費を予算の範囲内(四一年度は一人三万円程度)で支給する。
 - (2) アフターケアの指導員は月一日平均年間十二日を活動する。
 - (3) 教材——(四一年度の例)
 - ①岡山畜産便り一カ年分 800円
 - ②月刊誌「畜産コンサルタント」一カ年間 1,300円
 - ③ポケット型計算尺一コ 800円
 - ④参考書「草地の造成管理と放牧技術」一冊 450円
 - ⑤参考書「繁殖豚飼育技術体系」一冊 530円
 - ⑥中核農業者群指導用教材
 - ⑦指導用器具一カ所へ一コ 5,000円
 - ⑧グループ員用資料一カ所へ 4,000円
- 3、他の畜産会事業
 - (1) 月刊誌「岡山畜産便り」の発行
 - (2) 畜産講習会の開催
各畜種、専門分野について斯界の権威者を招いて講習会を開催。
 - (3) 畜産経営技術指導指標の作成
布 肉用牛、酪農、養鶏、ブロイラー、乳用牛雄子牛肥育

乳牛用配合飼料

品長くもうかる!!

酪農1号

岡山県酪連

仔牛はこれぞ!!

雪印

カーフミルク

カーフフード

使って安心!!

北酪1号

北酪2号

岡山県北部酪農協

製造発売元「タネとエサ」の **雪印種苗株式会社**

本社 岡山 盛岡

▽四月号目次△

ニューカッスル病の話
小野登志男……1

肉用牛振興対策について
畜産課……2

▽和試
和牛の繁殖のしかた
……10

▽鶏試
猛威をふるう厄病神
ニューカッスル病
……11

乳用雄子牛の肥育
植田貞一……6

蹄耕法と草地の放牧利用
……14